



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.28

地域連携病院②「かさまつ在宅クリニック」

今回は、在宅医療が中心のかさまつ在宅クリニックをご紹介します。

■ 住み慣れた家で、できれば最期まで

かさまつ在宅クリニックは、平成24年10月に開院しました。子供から大人まで、家で過ごしたい患者さんやご家族の希望を叶えたい!そのような気持ちで、5年間やってまいりました。徳島大学病院の患者支援センターや病棟とは、退院調整の際に緊密な連携を行っています。この場をお借りしてご協力いただいている全ての方にお礼申し上げます。

■ 在宅医療は、なにができるの?

在宅においても、エコー検査、心電図検査や採血・採尿検査などは可能です。ただ在宅では、ケアの部分がほとんどです。定期的なカニューレ交換などがありますが、大部分が、患者さんやご家族のお話を伺うことです。在宅療養は不安の連続です。いろいろなゆれる気持ちに寄り添い、一緒に考える時間を大切にしています。

■ 認知症の方を在宅で

超高齢社会や病床数が減っていく時代において、認知症の方を入院でなく、在宅でみていくことが必要となっ



てきています。認知症の方も住み慣れた地域で、ご家族や在宅スタッフと力をあわせて、できれば最期まで生活していく。そのようなことが求められている時代です。認知症サポート医(院長)と認知症のさまざまな問題について、一緒に考えていければと思います。

■ 次世代の医師、看護師教育

医学生や看護学生に、在宅現場をみていただくことが、「在宅」の理解を深めていただくのには、重要なことと考えています。在宅は決して“看取り”ではありません。障がいを持っていてもリハビリをしながら機能を維持し、生活していく。そんな方々も在宅でサポートしています。院長はじめ、日本小児科学会認定小児科専門医(笠松由華)や日本看護協会訪問看護認定看護師(長谷康子)、医療事務(社会保障制度や在宅医療の報酬について)などが担当します。



「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

医療法人
かさまつ在宅クリニック
徳島県徳島市仲之町2丁目8番地2
tel.088-679-6393

■ 説明は
笠松 哲司(かさまつ・つし)
院長

